

**msi**

GRAPHICS CARD

**PRESS RELEASE**

## MSI®、Mini-ITX などコンパクト PC のアップグレードに最適な RADEON R7 360 搭載 OC カードを発売

**2016 年 5 月 12 日—Micro-Star International Co. Ltd., 台湾・台北市—** Micro-Star International (MSI®) は、AMD RADEON R7 360 を採用したグラフィックスカードの新製品「R7 360 2GD5 OCV1」を 5 月 13 日より発売いたします。本製品は、従来製品「R7 360 2GD5 OC」の後継製品で、スペックの見直しにより、低価格化を図っています。その市場想定価格(税別)は、12,980 円を予定しております。

本製品は、768 基の GPU コアを統合した RADEON R7 360 を、リファレンスモデルよりも 50MHz 高い 1100MHz で動作させる OC モデルでありながら、カード長 165mm のコンパクトさを実現。Mini-ITX システムなどの省スペース PC との組み合わせに最適なグラフィックスカードです。ディスプレイ出力には、DisplayPort、HDMI、DL-DVI-I の 3 系統をサポートし、CrossFire によるマルチ GPU 構成にも対応します。



R7 360 2GD5 OCV1 の電源回路には、高負荷環境下でも 10 年の長寿命をほこる固体コンデンサを採用。また、オーバークロックユーティリティ「Afterburner」によるオーバークロックや、ファン回転数制御などが可能です。なお、本製品の主な仕様は下記のとおりです。

## 【主な仕様】

製品名	R7 360 2GD5 OCV1
GPU	AMD RADEON R7 360
GPUコア	768
インターフェース	PCI Express 3.0 x16
コアクロック	1100MHz
メモリサイズ	2GB
メモリタイプ	GDDR5
メモリインターフェース	128bit
メモリクロック	6000MHz
DVI	Dual-Link DVI-I × 1 最大2,560 × 1,600ピクセル@60Hz
HDMI	HDMI 1.4a × 1 最大4,096 × 2,160ピクセル@24Hz
DisplayPort	DisplayPort 1.2 × 1 最大4,096 × 2,160ピクセル@60Hz
最大ディスプレイ出力	3
CrossFire対応	○
最大消費電力	100W
補助電源	PCI Express 6ピン × 1
外寸(高さ×奥行き×幅)	165 × 110 × 37mm
重さ(本体のみ)	348g
市場想定価格(税別)	12,980円

## 【製品情報】

R7 360 2GD5 OCV1

<https://jp.msi.com/Graphics-card/R7-360-2GD5-OCV1.html>

### □お客さまからのお問い合わせ先

エムエスアイコンピュータージャパン株式会社

MSI お客様ご相談窓口

E-mail: [supportjp@msi.com](mailto:supportjp@msi.com)

URL: <http://jp.msi.com/>

### □報道関係者さまからのお問い合わせ先

HaNaRe PR Group

E-mail : [press@hanare-pr.jp](mailto:press@hanare-pr.jp)

## MSIについて

1986年の創業以来、MSIはデジタル時代における継続的な成功を収めています。最高のユーザーエクスペリエンスを実現するために、すべてのコンポーネントが不可欠です。“イノベーション”と“スタイル” – 過去約30年間に於いてMSIは常に本質的な価値の高いデジタル製品を提供するよう努めており、その結果高いパフォーマンスおよび信頼性と優れたユーザーエクスペリエンスや表現スタイルを併せ持つ製品を数多く世に送り出しています。

長年培った設計と製造における経験とノウハウにより生産性を高めた結果、MSIのメインボードとグラフィックスカードは世界トップ3メーカーのひとつとして数えられるまでに成長しました。我々は世界120カ国以上、累積で1億5千万枚のメインボードと1億枚のグラフィックスカードをお客様の手にお届けして来ており、売上高においても業界で最も優れたブランドのひとつです。

MSIは世界的に有名な賞を数多く受賞しており、その量は世界50カ国・350以上のメディアから約8,000もの賞を獲得しています。ブランド統一スローガン“Innovation with Style”の下、MSIはデジタル時代の主要なブランドとしてグローバル市場においてパイオニアであり続け、その中核となる消費者のニーズとグローバルな技術革新の分野で世界をリードして行きます。